

いわき市再生資源協業組合 SDGs への取り組み

持続可能な開発目標（SDGs）とは 2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。当組合も世界中の人々が幸せに豊かに暮らす社会の実現を目指し、SDGs の目標達成に向けて貢献してまいります。



1.ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて



ワーク・ライフ・バランスの定義とは、仕事と生活の調和がとれているかどうかということです。具体的には、働く個人が、やりがいをもって働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭生活においても介護や育児などの時間や、自己啓発のための勉強の時間を持つことのように、豊かな社会生活を送ることが可能な労働環境のことを指します。当組合における社内活動の一つ「**元気な職場作りプロジェクト**」は、社員一人ひとりの心の声を言葉に表し、共有する活動です。こういったコミュニケーションを重視した活動は、良質な職場環境を造り、仲間の心の豊かさに気づききっかけとなります。また、あらゆる分野において女性がその個性を十分に発揮することは、地域社会を活性化させる大きな力となると考えられることから、女性管理者の登用・育成及び職場における女性活躍や男女共同参画に積極的に取り組み、男女がともに働きやすい職場環境の整備を図るなどの取組を行っています。当組合は「**いわき市女性活躍推進企業**」として認定されています。

2.エコアクション21の認証を取得



エコアクション21の認証を取得しています。エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム（EMS）です。取組結果は「環境活動レポート」として取りまとめて公表しています。

3.リサイクル教室の開催



一般市民を対象に、不要になった布、毛糸等を使用した【つまみ細工教室】【ニードルフェルト教室】のリサイクル教室を開催しています。つまみ細工は江戸時代から伝わる日本の工芸で、布を正方形に切り取って折り畳み、組み合わせによって様々な形をつくる技法です。楽しく分かりやすく伝えることを目的としています。

また、廃ガラスを利用した【人工シーグラス】を選別作業員の中から生まれたアイデアをもとに考案、社内独自の製造方法で完成。2020 年以降のリサイクル教室で情報発信して行く予定です。

4. 多様な人材が個々の能力を最大限に発揮できる組合を目指して



組合は社員こそが企業の財産、すなわち「人財」であると考え、社員の成長を積極的にサポートするため、キャリアに応じて充実した教育研修を実施しています。社員の成長を第一に考え、体系的な教育研修を実施することで、「高度な知識・技能、責任感と気概を有し、かつ時代の変化に的確に対応できる柔軟性、創造性のある社員」の育成を目指しています。

5. 講習会や研修会を通じた人材育成



各分野の専門家を外部講師として招き、毎年講習会を開催しています。社員全員に学ぶ機会が与えられ、業務意識の向上を図る取り組みです。

6.いわき市不法投棄監視サポーターとして活動



後を絶たない廃棄物の不法投棄をなくすため、また、地域環境の保全と不法投棄の未然防止をさらに強化していくために、『いわき市不法投棄監視サポーター』に登録しています。

7.「日本製紙ピンクリボン PPC」への協賛



ピンクリボン PPC は乳がん検診の啓発活動「ピンクリボン運動」を支援する PPC 用紙です。当組合はこの活動に協賛して社内使用 PPC として採用しています。

8.健康事業所宣言



社員同士がコミュニケーションを密に図り、健康に配慮する文化を組織に創造していくことによって、組織の健康と生産性を維持しています。2019 年 8 月、全国健康保険協会の「健康事業所」として宣言し、社員は毎日の血圧、体温などの健康チェックを記録して管理しています。

9.食品ロス削減～フードバンクへの協力



賞味期限内でまだ食べられるのに、印字ミスや箱の破損などで販売できない食品をフードバンクへ寄贈する「フードバンク」は食料を生活困窮者や児童・障がい者施設などに無償で提供する活動をしています。

いわき市では NPO 法人ザ・ピープルさんがフードバンク事業を展開しています。当組合においては社員休憩所に「フードボックス」を設置して協力しています。

また、いわき市が推奨する「食品ロス」は、社内イベントの時などに呼びかけをして 1 人ひとりの意識向上を目指しています。

今後の展開(案)

1.高齢化社会へ向けた取り組み



高齢化に伴う家庭のごみ出し困難者への支援事業の展開を目指したい。ごみの分別が難しい、山間部世帯数が少ない地域のごみ集積所までの距離が遠くてごみ出しが困難、そういった高齢者を訪問してアドバイスをしながらコミュニケーションをとることで、安心して生活できるよう応援したい。

2.認定 NPO 法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)へのペットボトルキャップ支援



子どもワクチンの確保と感染症予防を支援するための募金・ワクチン供与活動を推進している「JCV」の「キャップを集めて、子どもワクチン支援」の活動に参加したい。

3.廃ガラスから発泡軽量資材(人工軽石)を製造



軽量・透水性・保水性・耐火性・断熱性などの特長を活かして、土木をはじめ、緑化、農業、水質浄化、断熱など、幅広い用途で活用されており、循環型社会の構築に向けて、高い付加価値をもつ製品の製造を検討したい。